



富士(河口湖・1月)

年頭ご挨拶

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は、当会の事業運営に格別のご支援とご協力を賜りましたことを厚くお礼申しあげます。

昨年は、地震 津波 台風 洪水など世界中で大きな災害が続いた年でした。9月の支部行事でも、台風の接近で中止となりました。今年も、災害のない安全で平和な年であることを念願し同時に今一度、多くの教訓を与えてくれた東日本大震災を振り返ってみたいと思います。

3・11東日本大震災からすでに10ヶ月の時間が経過しましたが、『孝・震災』の立場から図らずも大震災により、これからの企業にとって何が大切なのか？何が課題なのか暗示してくれているのではないのでしょうか？今回の大震災で、情報手段 通信手段として、インターネットが大きな力を持つことが明確になりました。震災直後は、通話量の急増で電話がつながりにくくなりましたが、通信方式が違うインターネットは比較的震災に強く、安否情報などはフェイスブックやツイッターなどのコミュニケーションツールを利用することで入手することができました。フェイスブックに『私は無事です！』と投稿すれば家族や友人がそれを見て安心してくれた事例もあるとか。

災害時に備え、家族や従業員の安否を確認するための通信手段を検証しておくのも、今後の企業経営者として必要なことだと思います。

震災を機に、安否確認や情報発信のツールが高く認識され、個人がツイッターで気軽につぶやくことで製品改良のヒントになる有益な情報が企業に入りやすくなって来ました。つまり、企業と消費者が情報をやりとりする双方向コミュニケーションが拡大して来ています。さらにスマートフォンやタブレットなどの爆発的な普及がその動きを後押ししています。

印刷会社でも、自社でフェイスブックを立ち上げ、多様なコミュニケーションツールを駆使して、地域なり企業なり個人なりに密着した関係を築くことが可能になりました。

震災以後の自粛ムード、円高 印刷用紙値上げなど、厳しい状況下であるときこそITを活用したコミュニケーションツールをうまく使って、業務を続けていること、元気でやっていること、さらにビジネスを伸ばしていること、と思っていることを、『絆』をもって広く顧客に伝えて行きたいものです。最後になりましたが、今後とも当会発展のためより一層のご支援をお願いする次第でございます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

平成二十四年一月

大阪福島印刷工業会

会長 松本直樹

新年互礼会

平成23年1月14日(金)
大閘園オーキッドテラス

平成23年新年互礼会が1月14日(金)に太閘園オーキッドテラスに於いて正会員、来賓、賛助会員35名が集い開催された。

6時より中川総務委員長の司会で開会し、松本会長が会員、役員に日頃の組合活動に対する協力と支援にお礼を述べられ、「業態変革に成功している会社は社員とのコミュニケーションがうまくできている。会社の独自の強み、社風、行事や会議の仕方を工夫して社員とコミュニケーションを図ってほしい。」と挨拶された。

続いて西井理事長の祝電が披露さ

れた後、来賓の大阪府印刷工業組合

吉賀文雄副理事長にご挨拶を頂いた。吉賀氏は「福島は活気があり今日も楽しみにしてきました。正月の正しいという字は分けると「一」と「止まる」になります。年の初めに一旦止まって考えて行動や仕事をする。会社の計画や目標を立てて一年頑張ってください。」と述べられた。

徳田前会長の乾杯で開宴し、食事・歓談の進む中、経営教育委員会と進行の若山氏による「ビンゴゲーム」が始まった。今回は演芸をせずに豪華な賞品を多数用意したことで、カードを握る手にも自ずと力が入り、「リーチ!」「ビンゴ!」の声も大きく、高級和牛やワインを手にした会員の笑顔で盛り上がった。

各委員会委員長より行事の告知の

後、西田副会長の三七拍子で午後8時中締めと



挨拶される松本会長



盛り上がった新年恒例のビンゴゲーム

定時総会

平成23年5月21日(土)
小豆島国際ホテル

阪府印刷工業組合西井理事長よりの祝電が披露され審議に移った。

谷口副会長から平成22年度行事報告の後、松本会長が議長に選出され、審議に入った。平成22年度決算報告(花房会計部長)、会計監査報告(板倉監査役)、平成23年度事業計画案(高木副会長)、平成23年度予算案(花房会計部長)が審議され承認された。最後に緑青会宮田会長から青年会の活動報告が行われ、4時30分閉会となった。

各自部屋に入ってから海辺を散歩したり温泉で疲れを癒した後、懇親会では海の幸を堪能しながら恒例ビンゴゲームを交えて親睦の輪を広げた。



大阪福島印刷工業会は、5月21日(土)・22日(日)に会員・賛助会員24名の参加で小豆島にて懇親旅行を兼ねて総会を開いた。

3時に「小豆島国際ホテル」到着。総会会場に直行し、中川総務委員長の司会により東日本大地震で被災された方々に黙祷が捧げられた後、開会が告げられた。

はじめに松本会長が東日本大震災の影響、被災された方々の「絆」の強さ、我々組合員も絆を強くして共に頑張っていこうと挨拶の後、大



松本会長



会場の小豆島国際ホテル

定期健康診断と特殊検診



本年度の定期健康診断と有機溶剤の法定特殊検診を福慈会クリニック様のご協力により7月14日(木)に実施いたしました。

本年は受診場所の提供を谷口印刷紙業株式会社様・株式会社高木新盛堂様・全版株式会社様3社に協力して頂き、参加企業6社、52名の方が受診されました。従業員の定期健康診断とは、企業が労働者に対して定期的に受診させなければならぬ健康診断です。これは労働安全衛生法および労働安全衛生規則によって定められています。事業者が実施を怠ったり、労働者が受診を拒んだりすると、企業側が法的処分を受ける場合があります。従業員が健康状態を把握・管理する義務があり、そのために行うのが定期健康診断です。大阪労働局によると平成22年定期健康診断結果報告の取りまとめで有所見率(受診した労働者のうち何らかの項目で異常の所見のある者の占める割合)は年々上昇しており平成22年は51.8%で過去最高になっています。

す。検査項目別の有所見率を見ると

脳、心臓疾患関係の検査項目の1つ

である「血中脂質検査」が32.6%と最

も高く、ほぼ3人に1人が有所見者

であり、次いで「肝機能検査」14.6%

「血圧検査」14.3%となっています。10

年前と比較すると脳・心臓疾患関

係の有所見率が上昇傾向にあるそ

うです。また、過重労働による脳・

心臓疾患(過労死)等事案による

労災支給決定件数も年300件台

後半と高水準で推移しています。過

労死や職業性疾病を予防するため

には、有所見となった状態の改善を

図ることが重要です。事業者の具体

的な取り組み事項として健康診断

に異常の所見がある方には、医師の

意見を勘案し、作業の転換、労働時

間の短縮等の就業上の措置を実施

する。定期健康診断結果を働く方へ

確実に通知する。健康診断の項目

に、異常の所見がある方など健康の

保持に努める必要がある方につい

て、医師や保健師による栄養改善、

運動等の保険指導を行い、働く方自

身も保険指導を利用して、その健康

の保持に努めることが必要です。

企業においても従業員の健康管理

理は企業の利益につながるもので

あり毎年必ず定期健康診断を受け

させ、従業員の健康状態を把握し健

康維持のための適切な指導を行

ましよう。

(朝田印刷紙器株式会社・貞宗)

北親・福島支部 合同セミナー

経営から見た営業
—我が社が印刷通販を立ち上げた理由—
土山印刷株代表取締役
土山雅之氏が講演



北親会支部(吉賀文雄会長・大枝正人支部長)と福島支部(松本直樹支部長)は、6月16日(木)中央区南本町の大阪府商工会館で、第1回合同セミナー「経営から見た営業—我が社が印刷通販を立ち上げた理由—」を開き、150名が参加した。講師は土山印刷株代表取締役の土山雅之氏(本社・京都市南区)。

午後6時15分に安平健一氏の司会進行で開会。まず吉賀北親会会長が「印刷の市場規模は6兆円といわれていましたが、最近

5.7~5.8兆円と7~8%のマイナス。これに対し印刷通販は2009年に63社のサイトが立ち上がり900億円市場といわれています。この分野でも活躍しておられる土山社長のお話から学ぶことが多いと思います」と挨拶。

次いで松本福島支部長が「北親支部より合同セミナー開催の提案を頂いたことを感謝しています」と述べ、司会者が講師のプロフィールを紹介して講演に移った。

■Web to Print 印刷通販事業の取り組み

滋賀県に製本の機械を見に行ったが、その時に京都で印刷通販で伸びている会社が2社あると聞いた。印刷機も5台・10台と入れているとのこと。2007年夏に先行2社のモデルを参考にし新規参入したが毎月の売上が10万円にもならず。2008年は売上拡大の公式を模索し、2009年にホームページをリニューアルしSEO対策にも取り組んだ。2011年は売上2億円・粗利10%と本格的に事業化へ。単価が上がりリピートが増加した。付け合わせと受注拡大に取り組み、1・2月は目標を達成したが、3月は大震災の影響もありダウン。5月末には回復した。

当社の強みは大手のクライアントとの長

年の取引があり、ハイブリッド型のWeb to Print「プリントプリウス」により、それが新商品開発のベース(企画・提案のインフラ)になり、お客様のニーズが見えてきた。

■やってみて分かったWeb to Print

全体の売上よりもプリントプリウスの伸びが急で、営業活動の効率化と顧客ニーズへの対応が容易である。売上のシェアは14%にすぎないが、20万円以下の仕事が74%を占める。営業の新規開拓が可能になり社内が活性化した。

当社が考える今後の印刷会社の方向性は、①ITインフラが社内外のプラットフォームとなる。②印刷会社はクロスメディア会社へと発展する。③各印刷会社の社会的役割・存在意義に応じてモデルが多様化する。④それに連動した再編成がなされる。⑤海外との交流は一層活発化し、コミュニケーションツールの必要性が増大する。

講演後、質疑応答も行われ、最後に大枝北親支部長が「失敗の経験もお聞きし、今後の展望と信念もお話し頂いた。新規顧客の獲得という点でもWeb to Printが有益だということも学んだ」と述べて、午後7時50分に閉会となった。

第8回

懇親 Party



開会宣言をされる高木運営委員長

平成23年8月9日(火)
ホテル阪神10階



挨拶される松本会長



参加者も笑顔でポーズ

「印刷業」から「情報加工業」へ

デザイン 企画
D.T.P. 総合印刷
WEB アプリ開発

Total Printing Solution
Keibunsha
株式会社 啓文社

〒555-0023 大阪市西淀川区花川2-14-14 TEL 06-6471-0431 FAX 06-6471-4508
<http://www.kbunsha.co.jp> E-mail : info@kbunsha.co.jp



「西潟佳世」 & 宮田 (日興印刷) ライブ

初登場の「KOHEI」ミニライブ



ホテル阪神ならではの料理



勢揃いした組合スタッフ



司会の笑福亭扇平・荒川運営副委員長・若山委員

第8回懇親ビアパーティーが8月9日(火) 去年に引き続き、ホテル阪神10階宴会場で288名が参加して開催された。

参加人数が初めて300名を下回ったがボールルームのみを使用することで全体の一体感が得られた。

午後6時30分荒川ビアパーティー運営副委員長・若山委員に加え笑福亭扇平の司会で開宴。松本会長、高木ビアパーティー委員長の挨拶のあと、「KOHEI」のミニライブが始まった。今回は二つの会場で開催されたこともあり、エレキギター、ボーカルの迫力が会場の熱気へと変わっていった。続いての恒例お楽しみ抽選会ではホテル阪神のランチ券・デザイナー券やクローラーBOX、阪神タイガースの選手のサインなどバラエティ豊かな景品に盛り上がった。

「西潟 佳世」ライブも宮田氏とのデュエット有りロックナインバー有りで楽しいひと時を過ごすことが出来、有意義なビアパーティーとなった。

午後9時西田副会長の中締めで再会を誓い散会となった。

前回の反省点であった料理の量・サービスも予めテーブル毎に前菜を出すことやドリンクの種類絞り込みでクリア出来、より多くの会員に満足していただけた事は会員の皆様、協賛企業の皆様、会場スタッフそして運営を支えて頂いたビアパーティー委員会の皆様のお陰と感謝しております。有難うございました。

ビアパーティー委員会 運営副委員長

中川敏之

KOMORI
Kando:Beyond Expectations

株式会社 小森コーポレーション
大阪支社 〒536-0016 大阪市城東区蒲生2-11-3
TEL. 06-6939-3051~4(営業直通)
<http://www.komori.com>

なぜ、人材派遣はモトヤ?

それは、印刷関連業務に特化した
人材派遣・紹介を展開しているのは、
モトヤだけだから...

印刷関連業務のスタッフを
必要ときに必要な期間だけ派遣します

■ 派遣職種 ■

- コピーライター ● デザイナー ● WEBデザイナー
- DTPオペレーター ● スキャナーオペレーター ● CTPオペレーター
- 印刷オペレーター ● 校正 ● 印刷進行管理者 など全般

■ お問い合わせ モトヤ人材派遣部 ■
大阪 ☎(06)6261-1941
東京 ☎(03)3523-8719

株式会社 **モトヤ** 大阪 〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-10-25 ☎(06)6261-1931(代)
東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711(代)



小豆島

平成23年度定時総会・懇親旅行

5月21日午前8時に福島をバスで出発、会員・賛助会員24名の参加で例年より少し寂しい旅行になったが車中はゆつくり座ることができました。

阪神高速、中国道を経て播但道を通り、改修中の姫路城を右手に見ながら11時頃に姫路港に到着、フェリーに乗り込み小豆島福田港まで約100分の船旅でした。船内で昼食のお弁当を頂き、当日は晴天だったのでデッキに出て潮風に吹かれている間に小豆島が見えてきた。小豆島に到着後、オリーブ公園と手延べそうめん館を見学しました。そうめん館では手延べの実演とゆで



日本三大渓谷美の一つ「寒霞渓」

天使の散歩道 エンジェルロード

たてを試食させてもらい、「そうめんはヒネより作りたてがうまい」という解説に「同納得(?) お土産コーナーは満員になりました。

15時に「小豆島国際ホテル」到着。そのまま総会会場に直行し、中川総務委員長の司会により定時総会を開催しました。総会の冒頭に、3月11日東北地方を襲った東日本大地震の被災者の方々に黙祷が捧げられ開会となり、松本会長の挨拶の後、谷口副会長から平成22年度行事報告、花房会計部長の決算報告に続き、会計監査、平成23年度事業計画案、予算案が審議され

寒霞渓ロープウェイ山頂駅



そうめんの試食ができる
味わいコーナー

「小豆島手延そうめん館」の実演コーナー



寒霞渓は天気に恵まれず
あいにくの霧模様



姫路港～小豆島へ向かうフェリー内で昼食



閑谷学校は1670年に備前藩主池田光政が創学



閑谷学校講堂内部



無事決議し、16時30分に閉会となりました。

各自部屋に分かれた後、懇親会までの間、一日2回干潮時に現れるエンジェルロード（カプルで手をつないで渡ると恋愛が成就するといわれており、公開中の映画「八日目の蟬」でロケ地になったこともあり瀬戸内の静かな海を仲良く歩く若者で賑わっていた）を渡り弁天島まで海辺を散策したり、温泉に浸かり身体を癒したり、思い思いの時間を過ごしました。

18時30分、松本会長の挨拶に続き大島労務・環境委員長に乾杯の御発声を頂き、懇親会が始まりました。沢山並んだ料理にお酒もすすみ、恒例のビンゴ大会では賞品を手会員の笑顔で溢れていました。

翌日は9時にホテルを出発し、日本三渓谷のひとつ「寒霞溪」に向かいました。朝から小雨が降っておりロープウェイで約5分、景観を楽しみにしていましたが上に行くにつれて霧が濃くなり、残念ながら山頂付近は濃霧で何も見えず、雨も強くなり肌寒く感じ、早々に

バスに戻り下山しました。

11時過ぎに大部港に到着、この頃には先程の雨が嘘のように天気が回復していました。再度フェリーに乗り、小豆島を後に岡山の日生へ約1時間で到着、昼食は日生港の鹿久居荘で海鮮料理を頂きました。

その後、現存する世界最古の庶民のための学校特別史跡「旧閑谷学校」を見学しました。国宝の講堂や精巧に組まれた石堀が印象深く、1670年藩主池田光政が創建した思いを受け継ぎ、今でも研修生が講堂の床に正座し論語の一章をそらんじあう「講堂学習」が行われているそうです。

15時30分備前ICより中国道を走り、途中渋滞もありましたが、18時30分頃無事帰阪し解散となりました。

周囲の石堀は、備前焼瓦と並び独特の景観を演出



最古の庶民教育の殿堂 旧閑谷学校

学^{まな}びて時^{とき}に之^{これ}を習^{なら}う、
亦^{また}説^{まこと}ばしからずや。
朋^{とも}遠^{えん}方^{ぽう}より来^{きた}る有^あり、
亦^{また}楽^{らく}しからずや。



ものづくり委員会セミナー

10月15日(土) 第2回ものづくり委員会が会員、賛助会員合わせて19名の参加で開催された。

今回は、緑青会と合同で「大阪シーリング印刷(株)大阪工場」にて工場見学と「3Dシール、最新シール事情、MUDの取組み」について説明を受けた。

当日は福島郵便局前に12時30分に集合しバスで移動。本来、見学は受け付けていないところ高木副会長、宮田緑青会会長から無理をお願いし、シール業界では日本トップの工場を見学することが出来た。仕事に対する取り組みやシステム作り、我々への対応の良さに驚くことばかりであった。3Dシールは組み立て式のPOPでパッケージデザインを選択し印刷領域に情報を印刷しオリジナルのPOPを作成するもので、かさばらず商品と同送出来、組み立ても容易であるのがポイント。

MUDの取組みもコンペで入賞されており、営業・デザイナーも日頃からMUDを意識するよう心がけておられた。

その他、5Sの取組みや生産の効率化



を徹底されており様々なシール印刷のハード面と共にソフト面の構築の重要性が身に沁みだ。

16時に記念写真を撮り工場を後にして梅田の「がんこ本店」で、懇親会を開いた。

参加者全員が満足の出来る勉強会だったと感想を述べ、良い刺激を自社に持ち帰っていただくことが出来、企画した緑青会役員にも良い勉強になった。

新日本印刷はつねに最上級の回答をご提案します。

for the **BEST SOLUTION**

 新日本印刷株式会社

代表取締役 松本直樹

〒553-0003 大阪市福島区福島7丁目16番22号
TEL.06-6458-3373 FAX.06-6458-3372

<http://www.sinnihon-p.co.jp>

日々変化する情報に素早く対応しCTPワークフローがもたらす高品質、短納期、コスト低減をサポート!!

 株式会社 **サンコープロセス**

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目4-14
TEL (06) 6451-7347 FAX (06) 6451-7647
URL <http://www.sanpro.co.jp/>

- 帳票・伝票印刷分野での67年の豊富な経験
- 大阪駅隣の自社工場による一貫生産体制
- ISO9001に基づく品質管理
- プライバシーマーク取得による個人情報管理

常にお客様にご満足して頂ける製品づくりに日々努力しております。

代表取締役 徳田 栄造

CI 中外産業株式会社

<http://www.chuugai.com>

本社 〒553-0003 大阪市福島区福島6丁目18番7号
TEL.06(6451) 5831 FAX.06(6451) 7016
東京営業所 〒104-0033 東京都中央区新川2丁目2番1号707
TEL.03(3553) 7400 FAX.03(3553) 7401

2・3・4 班 合同懇談会

と き 平成23年11月25日(金)
ところ かに道楽梅田店
参 加 13社

恒例の2・3・4班合同の懇親会が開催された。6時30分定刻となり、大島印刷(株)大島社長の司会で始まり、松本会長のご挨拶の中で、27日投票の府・市のW選挙で、大阪は盛り上がっている。この選挙を機会に大阪をもう一度考えなおしてみてもはと。又、大阪駅の新装や大阪市民マラソン効果で、活気を取り戻したかのように思えた。挨拶のあと、本日のテーマ自社の現状と来年への取り組みを提案された。

中外産業(株)の徳田社長の乾杯のご発声、印刷用紙の値上がりが実施されているが、印刷業界は値上げを認めないと言う強い態度で、そして福印工を独立させるくらいの意気込みで行こうと、力強い乾杯となった。

宴も盛り上がった頃、本日のテーマを2代目、3代目社長を中心に自社の取り組みを聞きながら、活発な意見交換をし、先の見えない不況の中で現状維持をする為、お互いの知恵や技術・設備を出して合って、助け合いの中から、WinWin の関係を築き、厳しい現状を乗り越えて、利益の出る会社を創ろうと励まし合った。

しかし現状維持だけではなく、自社の強みを活かして、お客様の課題解決の為のソリューションビジネスを、新しい業態として取り組むことの必要性も感じた。2時間半が過ぎ、高木副会長の中締めでお開きとなった。

1・5・6 班 合同懇談会

と き 平成23年12月1日(木)
ところ かに道楽梅田店
参 加 21社

平成23年12月1日(木)かに道楽梅田店で1班・5班・6班合同懇談会が行われた。21社21名の参加をいただき定刻に始まった。

はじめに松本会長の挨拶ならびに、今年度の組合活動、行事についての報告等があり、後に「大阪の印刷」新タイトルの公募で、ヒカミ写真製版(株)の金本氏が優秀賞を授与されたこと聞き皆さんから絶賛の拍手が送られた。おめでとうございます。岩橋氏の乾杯の発声より懇談会が始まり、かに料理を食べながら、各社情報交換など歓談に入った。

テーマは「今自社で取り組んでいること」他自社のPRや組合への要望等発表して頂いた。21名の発言の中から雇用問題(残業など)やったらあかん事はせん方がよい、只今充電中、隙間をねらった商売、息子に託す、数字の管理辛い時代、組合でもっと仕事を協力しあわなあかん、中には早よやめたい、などさまざまな発表があり始終和んだ懇談だった。今回初参加の(株)工文社 花光氏には今後さまざまな組合活動にも参加して頂きたい。緑青会会長の宮田氏は積極的に勧誘をされていた。(若い力に期待!!) 楽しい時は過ぎ、小林氏の中締めの挨拶でお開きとなりました。

今回の合同懇談会は多数の参加者で楽しく盛り上がった懇談会だった。これからも、各社が協力しあえる組合を盛り上げて行ければと思っている。 荒川

班別懇談会

平成23年度
1班～6班

常に時代の中心。

PRINTING

印刷技術のあらゆるニーズに信頼でお応えします。



谷口印刷紙業株式会社

〒553-0002 大阪市福島区福島4丁目2番1号
電話06(6458)0274(代表) FAX06(6458)0276
E-mail: tprint@f8.dion.ne.jp

一貫したシステムと、お客様が十分に納得できるサービス体制でお応えします

制作から製版・印刷まで

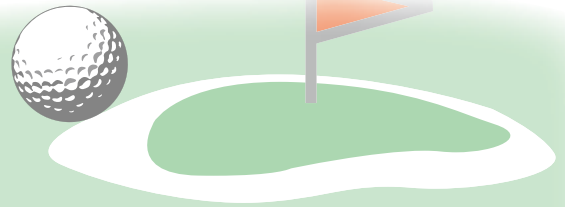
Higher Capability & More Individuality

HIKAMI



ヒカミ写真製版株式会社

〒553-0003 大阪市福島区福島6丁目20番10号
TEL.06-6451-7058 FAX.06-6451-7078
E-mail: info@hikami-p.com URL: http://www.hikami-p.com



ここ2~3年 天候に恵まれず、春・秋とも曇りのち雨の天気になりました。

初夏 6月12日(日) 花屋敷 GC ひらのコースで 16名参加で親睦ゴルフ大会が行なわれました。

大島印刷、大島社長が OUT48 IN51 で優勝されました。
 秋は 10月30日(日) 北六甲カントリー GC 西コースで 17名
 新光ビジネス、桑原社長が OUT47 IN48 で優勝されました。
 春は古豪が勝ち、秋は最近余裕が出来たのかゴルフの腕を上げている桑原氏が勝ち、新旧の優勝となりました。

ファミリーハイキング

うす曇りの11月3日(木)文化の日、恒例のファミリーハイキングを行いました。

15社 27名(大人 23名・子供 4名)の参加がありました。

阪神西宮駅に集合。バスを鷺林寺で下車、ここより奥池までハイキングコースを登って行きました。

今年の紅葉は例年より少し遅く、色つき始めたところでした。

登山道を歩き始めは賑やか・途中静か(登りで話す余裕なし)・また奥池が見えた所で元気になりました。

今回は、いつも先発隊として準備をしてくださっている委員の方々も「歩きたい(隊)」と歩いた為、到着後全員でバーベキューの火熾しに協力・喧々諤々しながら無事食事にありつき楽しく盛上がりしました。

共同作業の楽しさ・大切さも体験でき、さらに福島支部の親睦が深まったと思います。

最後に今回準備していただいた方々、参加して頂いた方々、ありがとうございました。

次回も楽しく素晴らしい企画となります様願っています。

2011年11月3日(祝)
参加者 27名



支部ホームページへの最新情報提供は、皆様のご協力により各行事を運営して頂いた専門委員会の皆様に投稿して頂きました。

ホームページは皆様の声が反映されて初めて充実したものになる事を実感しています。生き生きとした支部活動をホームページに掲載することで支部活動の活性化に役立てればと考えています。

今後も皆様の一層のご協力、ご支援ををお願いします。

IT担当 副会長 谷口晴彦

2011年 大阪プリンティングフェスティバル開催される

荒川祐一氏が支部功労賞受賞



大阪府印刷工業組合主催の『2011年プリンティングフェスティバル』が10月28日（金）太閤園において開催されました。

講演会では、(株)佐藤満国際経営・農業研究所代表取締役社長 佐藤 満氏を講師に招き、『逆境を切り開く経営』の題目でご講演頂きました。

講演では、

- ①経営とは『環境適応業』で世の中の動きを先取りして対応能力をいかに早く具現化して行くこと
- ②その為に『お客様を増やすために何をするか』が一番大切とご提言を頂き、参加者は共感を覚えた。

表彰式では支部功労者表彰が3名、優良従業員表彰では各支部より36名が表彰され福島支部から(株)ロンド

工房代表取締役荒川 祐一氏が支部功労者表彰を受賞された。荒川氏は厚生副委員長として、又支部ビアパーティ司会役など支部活動の中心となって活躍されたことに感謝申し上げます。

又、優良従業員表彰では勤続10年以上表彰に邨田印刷紙器(株)の松下周司氏が表彰された、松下氏には永年にわたり会社の発展に寄与されたことに感謝申し上げます。

受賞された皆様にはお祝いを申し上げると共に、健康に留意され、益々活躍されることをお祈り申し上げます。

情報交換会では表彰された各氏を囲み、支部役員も交えた和やかな懇談のひと時を過ごすことができた。午後7時30分お開きとなり散会した。

印刷関連機材と
ウェアプリントのことなら

信頼と強固でお客様を大切にします。



株式会社 エフケイエス

〒553-0006 大阪市福島区吉野4-25-13 FKSビル
TEL.06-6465-1700 / FAX.06-6465-1720
URL: <http://www.fks-j.co.jp> / <http://www.grafit.jp>

エコロジーを創造する ニチラン

NRK 日本欄罫工業株式会社

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-15-13
TEL 06-6441-4677~9 06-6443-4325
FAX 06-6443-4327

日頃より緑青会の活動にご協力を頂き、ありがとうございます。
 本年は、東日本大震災により印刷業界にも多大な影響がありました。緑青会ではこのような状況下でこそ、活気のある元気な会にしていきたいと思っております。

本年度は10月15日にもつくり委員会と合同で大阪シーリング印刷様の工場見学をさせていただきました。多数の出席を頂きありがとうございました。皆様にもお役に立てるような勉強会や行事を企画しますので、よろしくお願いたします。



研修旅行記

7月15日・16日に研修旅行で富士登山に行きました。

午後10時前に新大阪駅で集合し、夜行バスに乗り富士五合目をめざしました。途中のドライブインでの休憩をはさんで午前7時ごろに到着しました。景色はすばらしく都会とは全くちがう澄みわたった空気に癒され、少しくつろいだ後、

いよいよ五合目からの出発です。天候にもめぐまれ、少し汗ばむくらいの陽気でまだまだ元気もあり、

昼食になりました。昼食後は本格的な富士登山の心得などを富士山専門ガイドより説明を受けました。その内容は頂上までのペース配分や歩き方、緊急時での安全確保など、とても参考になるものでした。

楽しい会話で歩き始めました。八合目の山小屋に到着したころには日も暮れて夕食時になっていました。みんなでカレーライスを食べ、寝袋で仮眠をとりました。

- 4月 総会「銀平はなれ」
- 7月 研修旅行「富士登山」
- 12月 忘年会「黄金屋」
- 2月(予定) 家族会「吉本新喜劇」

日付も変わりまだ暗い中、ヘッドライトの明かりを頼りに山頂をめざし、ひたすら登り続けました。疲労もピークになりつつも『もう少しもう少し！』と自分に言い聞かせながら頑張り、ようやく山頂に到着しました。念願のご来光を拝み、とても神秘的な光景に感動しました。集合写真を撮り、砂利道を下って五合目をめざしました。

五合目よりバスに乗り、西湖で入浴し昼食をとって少し疲れもとれたような気がしました。その後、バスに乗り一路、大阪に向けて出発し、大阪駅に午後10時ごろに到着しました。

今回は参加できない方もいらっしゃいましたが、次回は多数の皆様に参加いただけるよう企画いたしますので、よろしくお願いたします。

◇ お悔み申し上げます ◇

株式会社 榮文堂印刷所
 吉森 茂雄社長 ご母堂様
 平成23年9月24日 歿

◇ 総務だより ◇ (役員会・委員会・全体会議報告)

2月4日(金)	三役会/る主水	6名	全体会議など
3月2日(水)	三役会/る主水	6名	22年度決算など
4月6日(水)	三役会/る主水	6名	23年度予算・事業計画など
4月15日(金)	全体会議/ホテル阪神	23名	総会審議事項など
6月1日(水)	三役会/る主水	5名	合同セミナー、健康検診など
7月22日(金)	三役会/る主水	6名	ビアパーティなど
8月24日(水)	三役会/る主水	6名	緑陰講座、ものづくり委など
9月28日(水)	三役会/る主水	6名	全体会議、ファミリーハイキングなど
10月19日(水)	全体会議/ホテル阪神	21名	各委員会報告、行事進捗状況など
11月16日(水)	三役会/る主水	6名	班別会議、新年互礼会など
12月16日(金)	三役会/る主水	6名	23年度決算、ピーマン5編集など